

# 三越ギャラリー



<b>4月30日(火・国民の休日)～5月6日(月・振替休日)※最終日、午後4時閉場</b>
<b>コンテンポラリーアートの世界展</b>
本館9階 三越ギャラリーA・B
1960年代初頭、ポップアート旋風を巻き起こしたアンディ・ウォーホルや、水玉・網目による個性的な表現で世界を席巻する草間彌生をはじめ、村上隆、奈良美智など現代アートの人気作家を集め一堂に展覧いたします。
アンディ・ウォーホル [マリリン・モンロー #11.24 (サンデーBモーニング版)] スクリーンプリント (各91.4×91.4cm)



<b>5月7日(火)～13日(月)※最終日、午後4時閉場</b>
<b>-北斎・広重・写楽・歌麿- 複製木版画展</b>
本館9階 三越ギャラリーA
北斎・広重・写楽・歌麿は「四大浮世絵師」と称せられ、その独創性は今なお他の追随を許しません。本展は、4名の代表的な複製木版画を約40点展示・販売いたします。
葛飾北斎 [凱風快晴] 複製木版画 (25.0×37.0cm)



<b>5月7日(火)～13日(月)※最終日、午後4時閉場</b>
<b>院展同人小品展</b>
本館9階 三越ギャラリーB
昭和20年(1945年)から開催されている「春の院展」は、本年で74回を迎えます。「第74回春の院展」に伴い、日本美術院同人作家の日本画の小品約40点を展覧いたします。常に日本画壇をリードし続ける、日本美術院の巨匠から新鋭画家まで意欲溢れる作品をぜひご覧ください。 ※なお、本年は「第74回 春の院展」札幌展の開催はございません。
今井珠泉 [飛翔(鷹)] 日本画 6号



<b>5月14日(火)～20日(月)※最終日、午後4時閉場</b>
<b>伊勢崎 紳 作陶展</b>
本館9階 三越ギャラリーA
肌理細やかな土味のうえに自然釉の妖艶な流れをまとった花入が伊勢崎氏の確かな焼成技術を裏付けています。次代を担う備前焼人気実力作家の作品をご堪能ください。 ※作家在廊予定: 5月16日(木)～19日(日)
[備前流胡麻窯変面取花入] (径14×高さ26.4cm)



5月14日(火)～20日(月)※最終日、午後4時閉場
ーユーモアあふれる優しさー ハンス・イヌメ来日絵画展
本館9階 三越ギャラリーB
オランダ出身の人気画家ハンス・イヌメ氏が新作をたずさえて来日します。手漉きの紙やオイルパステルを用いて描かれるイヌメ氏の動物たちは、観る方を優しく包み込み笑顔にさせてくれます。 ※作家来場予定:5月17日(金)午後2時～午後5時、5月18日(土)午前11時～午後4時
[正午の会話……]シルクスクリーン・手彩(30×40cm)



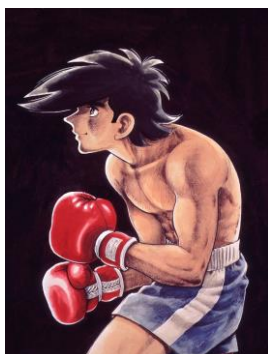
5月21日(火)～26日(日)※最終日、午後4時閉場
東日本伝統工芸展出品作家による伝統工芸小品展(展示・販売)
本館9階 三越ギャラリーA・B、イベントスペース
本館10階 催事場にて開催いたします「第59回東日本伝統工芸展」を記念し、東日本伝統工芸展出品作家による伝統工芸小品展を同時開催いたします。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7分野で活躍される、現代工芸作家の作品の数々を、ぜひご覧ください。
宍戸孝子〔祭囃子〕(幅23×奥行16×高さ19cm)



5月27日(月)～6月3日(月)※最終日、午後4時閉場
亭坂 恒治 作陶展
本館9階 三越ギャラリーA
独創的な形と絵付けが印象的な函館市在住の陶芸家、亭坂恒治氏。古来からの伝統的な赤絵の技法を用いながら、コンテンポラリーな印象と、小さな作品のひとつで周りの空気を変えることができるような作品づくりを目指しています。 ※会期中、作家在廊
[瑠璃彩塩来由釉しのぎ壺](径25×高さ15cm)



5月27日(月)～6月3日(月)※最終日、午後4時閉場
山下 徹 洋画展
本館9階 三越ギャラリーB
みずみずしい果物や、生きいきとした花々を描く、山下 徹氏。本展は、精緻に表現された油彩画と水彩画、約30点を展覧いたします。 ※作家来場予定:6月1日(土)・2日(日) 各日・午後1時～午後4時
【卓上の薔薇と果実】油彩 (20号)



5月27日(月)～6月3日(月)※最終日、午後6時閉場
ー連載から50年を迎えてー「あしたのジョー」版画展
本館9階 イベントスペース
「あしたのジョー」(原作/高森朝雄、漫画/ちばてつや)は「週刊少年マガジン」の連載開始から50年を迎えました。本展は、世代を超えて、いまなお多くのファンに愛されている国民的作品の「あしたのジョー」の漫画作品の原画の中から選りすぐった図柄の版画作品を一堂に展覧いたします。
高森朝雄・ちばてつや/講談社© [闘魂] ピュゾグラフィ版画 (42×31cm)